

2018年4月12日

株式会社JR大分シティ

アミュプラザおおいた 2017年度概況

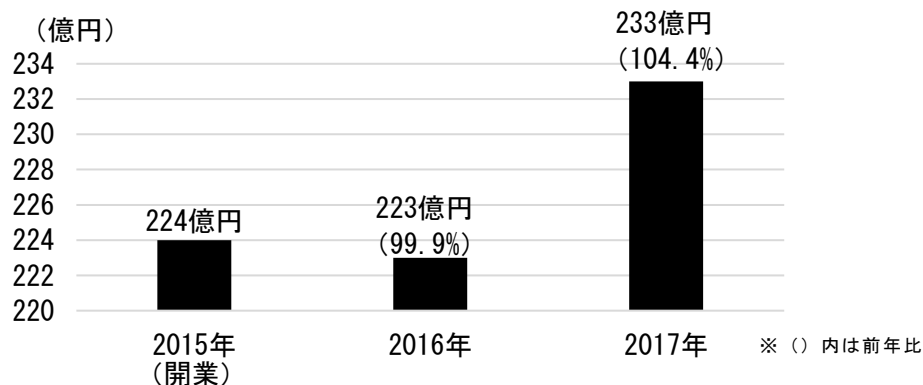
アミュプラザおおいたの2017年度（2017年4月～2018年3月）の概況についてお知らせします。

1. 売上高及び入館者数について

売上高	233億円	(前年比 104.4%)
入館者数	2,266万人	(前年比 102.1%)

売上高は過去最高

○ 開業3年間の売上推移



○ コメント

アミュプラザおおいたは4月16日に開業3周年を迎えます。これまで約6,900万人のお客さまにお越しいただき、心より感謝申し上げます。

2017年度は九州北部豪雨や台風などの影響があったものの、新店効果、JQカード会員施策、イベント開催などにより、売上高は過去最高となりました。これは、館（アミュプラザおおいた）の魅力や、「まち」・「地域」の魅力が多くのお客さまにご支持いただいたものだと考えております。

これからも安全安心を基本に、常に新しいモノやコトをご提案し、より魅力的な「アミュプラザおおいた」へと進化していきます。また、地域の皆様や行政との連携を深め、「まち」の賑わいづくりと「地域」の情報発信に努めてまいります。

今後ともご愛顧並びに「まち」の賑わいづくりに対するご支援の程宜しくお願いいたします。

2. 概況

2017年度は九州北部豪雨（7/5・6）や台風（9/17）などの影響はあったものの、これまでの新店効果や3月のリニューアル、JQカードによる顧客の伸張により、売上高は過去最高となりました。

○ 「アミュ」の魅力づくり

リニューアルによる話題性のある新店舗の誘致や季節感のある催事の開催

お客さまのニーズに応え、開業以来新店を誘致して参りましたが、3月に「新しさ」「話題性」「日常感」「親しみやすさ」「楽しさ」をキーワードにグランドリニューアルを実施し、22店舗が新規出店しました。また、衣料や身の回り品といったファッション関連アイテム、大型店をはじめとする生活雑貨が特に好調に推移しました。

クリスマスやバレンタインなどの季節のニーズに対応した催事や話題の店舗出店などを期間限定で開催し、ご来館動機や話題づくりにつなげました。

おトクな「JQカード」の会員増とさらなる魅力の向上

JQカードの会員は順調に拡大しており、9月には10万人（申込ベース）を突破しました。会員施策（JQカード5%OFF、JQカード10%OFFなど）もご好評をいただいております。2月～3月にはお買い上げ15万円以上の会員さまへの優待施策やJQカードとSUGOCAのポイントおまとめ施策により、さらなるJQカードの魅力づくりを行いました。

年間を通じて多くのイベントやワークショップを開催

大分駅前広場や屋上ひろばなどでイベントやワークショップを年間430回開催し、集客や賑わいを創出しました。

<主なイベント>

大分駅祭り、府内戦紙、まちなか文化祭、ジブリスタンプラリー、おおいたマルシェ など

<主なワークショップ>

鉄道神社茅の輪づくり、そば打ち体験、お茶会、芸術家によるものづくり など

○ 「まち」の魅力づくりと「地域」の情報発信

まちなかの皆さま、行政、地域の皆さまとの連携深度化や広域化に取り組み、まちの魅力や賑わいづくり、地域の情報発信に努めました。

まちなか連携

商店街や大型商業施設及び行政と連携し、話題づくりや集客・回遊施策を実施しました。9月には「オシャレ」をキーワードに経済団体とも協力して、中心市街地の回遊性と働き方改革を目指した「まちなかOSHARE月間」を初開催しました。

<主な連携施策>まちなかバーゲン（7月、1月）、夢色音楽祭（10月）、

イルミネーション（11-2月）、歩行者天国（4月、10月、2月）など

情報発信プラットフォーム化を推進

昨年11月には県内4市の竹灯籠が勢ぞろいする「竹あかり」イベントを開催し、地域の皆さまと共同で各市の魅力を発信しました。大分駅前広場の大型ビジョンを活用した、県や各市のPRも実施しております。また、7市1町が進める大分都市広域圏と連携し、地域の魅力や情報を駅で発信する協定を締結しました。